

日本動脈硬化学会「動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2017年版（仮称）」の進捗状況

慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学 岡村 智教
（日本動脈硬化学会理事、ガイドライン作成委員）

1. ガイドライン改訂の進捗状況

日本動脈硬化学会（理事長：山下静也 りんくう医療センター病院長）は現行の動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2012年版を改訂中。2017年1月29日（日）の動脈硬化フォーラム（宮崎）で改訂の概要を公表予定。最終版は2017年7月6～7日の第49回日本動脈硬化学会総会（広島）で公開予定。

2. 策定委員等（抜粋、敬称略）

委員長 木下 誠（帝京大学医学部教授）、副委員長 横手 幸太郎（千葉大学大学院教授）
幹事 荒井 秀典（国立長寿医療研究センター病院副院長）、疫学・診断基準等の執筆担当：
岡村智教（慶應義塾大学医学部教授、斉藤功（愛媛大学大学院教授）、宮本恵宏（国立循環器病研究センター部長）

3. 委員会の日程

2015年度から数回にわたって委員会を開催して担当を決めて原案を分担執筆。委員会やメール等で回覧を経て審議。直近の委員会は2016年10月10日に開催。今年度は11月27日、12月18日、12月23日に開催予定。

4. 改訂の主な方向性

動脈硬化性疾患の絶対リスク評価に死亡ではなく発症を予測するツールを導入、新規薬物の適用等の追加、家族性高コレステロール血症の取り扱いの改訂など

5. 新しいガイドラインでの診断基準と LDL-C 測定法についての方向性(10月10日時点)

脂質異常症：スクリーニングのための診断基準（空腹時採血）（案）

LDL コレステロール	140 mg/dl 以上	高 LDL コレステロール血症
	120-139 mg/dl	境界域高 LDL コレステロール血症
HDL コレステロール	40 mg/dl 未満	低 HDL コレステロール血症
トリグリセライド	150 mg/dl 以上	高トリグリセライド血症
<u>non-HDL コレステロール</u>	<u>170 mg/dl 以上</u>	<u>高 non-HDL コレステロール血症</u>
	<u>150-169 mg/dl</u>	<u>境界域高 non-HDL コレステロール血症</u>

○LDL コレステロールは、Friedewald 式（TC-HDL-C-TG/5）または直接法で計算する。

○TG が 400mg/dl 以上や食後採血の場合は non-HDL-C（TC-HDL-C）を使用する。ただしスクリーニング時に高 TG 血症を伴わない場合は LDL-C との差が +30mg/dl より小さくなる可能性を念頭においてリスクを評価する。

*10 時間以上の絶食を「空腹時」とする。ただし水やお茶などカロリーのない水分の摂取は可とする。
**スクリーニングで境界域高 LDL コレステロール血症、境界域高 non-HDL コレステロール血症を示した場合は、高リスク病態がないか検討し、治療の必要性を考慮する。